



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2007年9月10日

No. 9

『一歩一歩進もう』

～Let's Move Forward Step by Step～
東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T



平成 19 年 8 月 27 日

卓 話

第2750地区ガバナー

坂本 俊雄 様



皆さんこんにちは。ちょうど8月ですので、日本が負けた前後のロータリーについてお話したいと思います。日本のロータリーは皆さんよくご存知のように昭和15年に解散しました。米山梅吉さんがロータリーを残そうとして、いろんなことをします。右翼にまず迫害を受ける。日の丸を掲げ、君が代を歌うということで、なんとかロータリーを存続させたいと思いましたが、これも憲兵隊、陸軍省に呼び出されます。敗戦後のメンバーを見ますと全部で1000人ちょっとです。東京で100人。地区で割っていくと1地区に2人いないというような会ですから大変だったと思うんです。戦争中、潰されたロータリーですが、当時は会を存続させるべく水曜会、火曜会、金曜会というような名前前で17クラブぐらい残っていたそうです。

戦後は日本から先ず奨学生を外国へ送ろうと、それから東南アジアの人たちに何とか償いをしよう、そんなことがありました。そしてミーンズという、最後には事務総長になった方が日本に来たときに水曜会とかそういうものは解散しなさいと、会員増強には一生懸命になりなさいと。ですから私が入会した20何年前の日本の寄付金は1人100ドルです。第2位アメリカが50ドル。イギリスなんて10何ドル。ですから日本が世界のロータリアンの財源の25%を担っていた時代がずっとあります。今は100ドルのままですから、第1位が香港。第2位が台湾。第3位が韓国。第4位が日本になっています。

皆さんどこに行ってもロータリーってなんですかって聞かれると思うんですね。聞かれて「いやー」ってその会員の方もよくご存じない。今年度のウィルキンソンさんは120万

人の会員がいる世界最古の奉仕団体と言っています。

1929年、ロータリーそれまで何をやっているか全く分からなかったんです。

慈善団体に寄付をする、孤児院を作る、病院に寄付をするというような話を聞いて次のクラブがじゃあそれをやりましょ

うとやっていたんですが、シドニー・パスカルという方が、先ず3つのレーンを引きなさい。この第1のレーンがクラブ奉仕、第2のレーンが職業奉仕、第3のレーンが社会奉仕。これが全部サービスという言葉で1929年にロータリーが採用する。その時点で国際奉仕が第4のレーンということになってきました。

1911年に発行したインターナショナルロータリーの第1号にポールハリスが大変重要なことを2つ書いています。1つはロータリーは寛容だと。もう1つは What is a philosophy of Rotary as you understand it. これは未だに解決していない問題です。多分皆さんもそれぞれ考えが違ふと思います。私が言いたいのはロータリーは1つ扉を開けると次の扉がある。それを開けると又次の扉がある。ロータリーは大変奥が深く、よく知れば知るほど素晴らしいところである。ですからもしロータリーをつまらないといって辞める方がいらっしやったら、それは自分自身がつまらないということになるんじゃないか。ロータリーで色んなことを勉強させていただけます。米山梅吉さんは人生道場だといった。

丁度時間になりました。どうもありがとうございました。

